

2012年3月期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社
2012年5月9日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆生産および販売面への影響を含む、自然災害による様々な影響
- ◆日本、北アメリカ、ヨーロッパ、アジアおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争的環境
- ◆為替相場の変動(特に日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、カナダドルおよびイギリス・ポンドの相場変動)および金利変動
- ◆金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- ◆効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- ◆経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施するトヨタの能力
- ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または将来の訴訟やその他の法的手続きを含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制及び政府政策の変更など
- ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- ◆タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
- ◆ブランド・イメージの毀損
- ◆トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- ◆仕入先への部品供給の依存
- ◆原材料価格の上昇

以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

将来予測・インサイダー取引について

インサイダー取引に関するご注意:

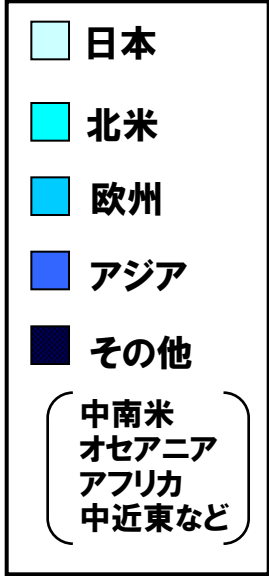
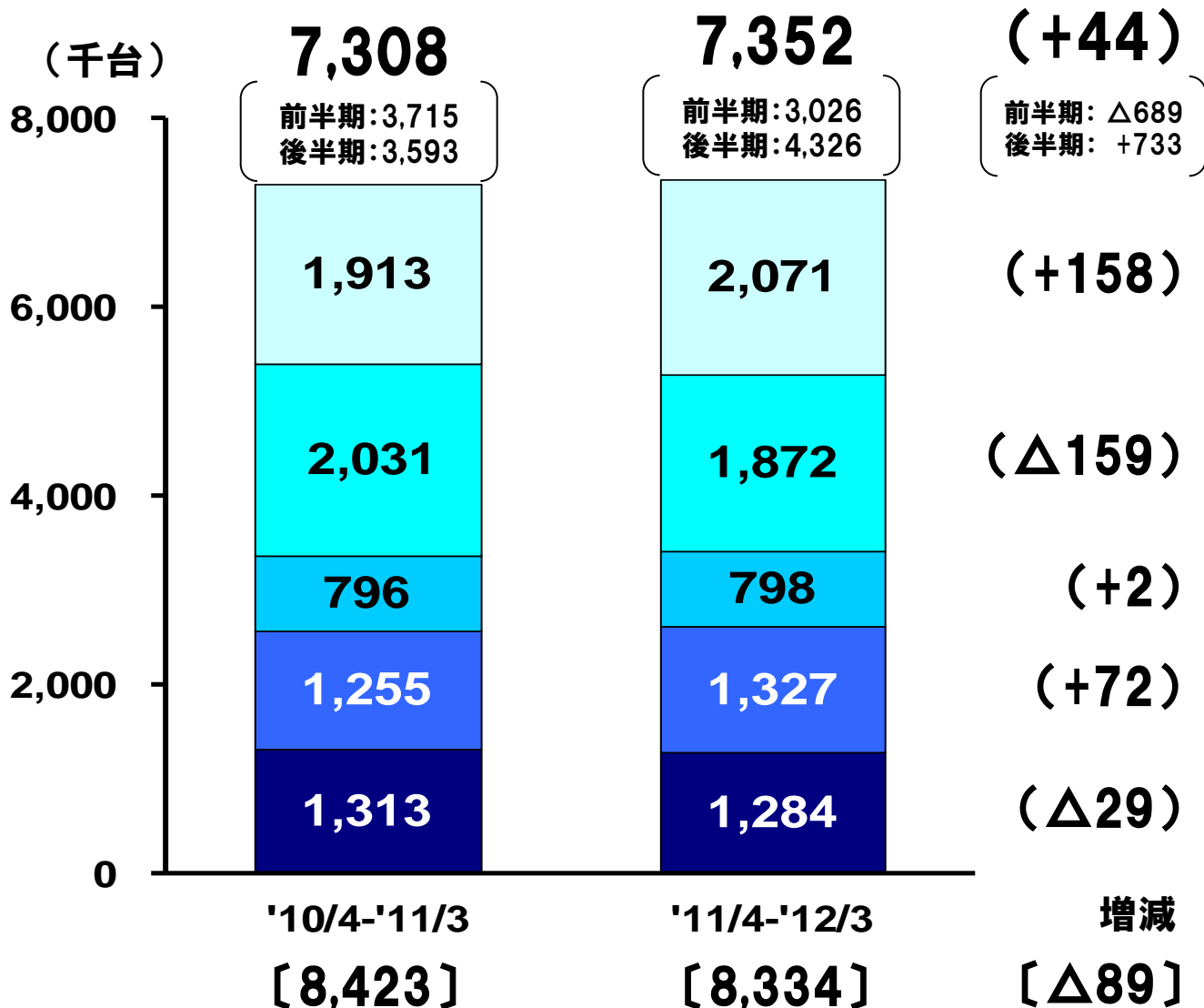
企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。



2012年3月期

【実績】

連結販売台数



'10/4-'11/3

'11/4-'12/3

[8,423]

[8,334]

[]は総販売台数(小売)

連結決算要約

(単位:億円)

		当期	前期	増減	
		('11/4-'12/3)	('10/4-'11/3)		増減率
売上高		185,836	189,936	△ 4,100	△2.2%
営業利益		3,556	4,682	△ 1,126	△24.1%
税金等調整前 当期純利益		4,328	5,632	△ 1,304	△23.2%
当期純利益※		2,835	4,081	△ 1,246	△30.5%
為替レート	ドル	79円	86円	7円の円高	
	ユーロ	109円	113円	4円の円高	

※当社株主に帰属する当期純利益

連結当期純利益※ 増減要因

(億円)

当期純利益※(△1,246)

※当社株主に帰属する当期純利益

営業利益(△1,126)

金利スワップ取引などの評価損益除き(△918)

4,081

2,835

為替変動
の影響
△2,500

営業面の
努力
+1,500

原価改善
の努力
+1,500

諸経費の
増加ほか
△1,000

その他
△626

営業外の
影響
△177

持分法
投資損益
△173

法人税
ほか
+230

'10/4-'11/3

'11/4-'12/3

<諸経費の増加ほか 内訳>

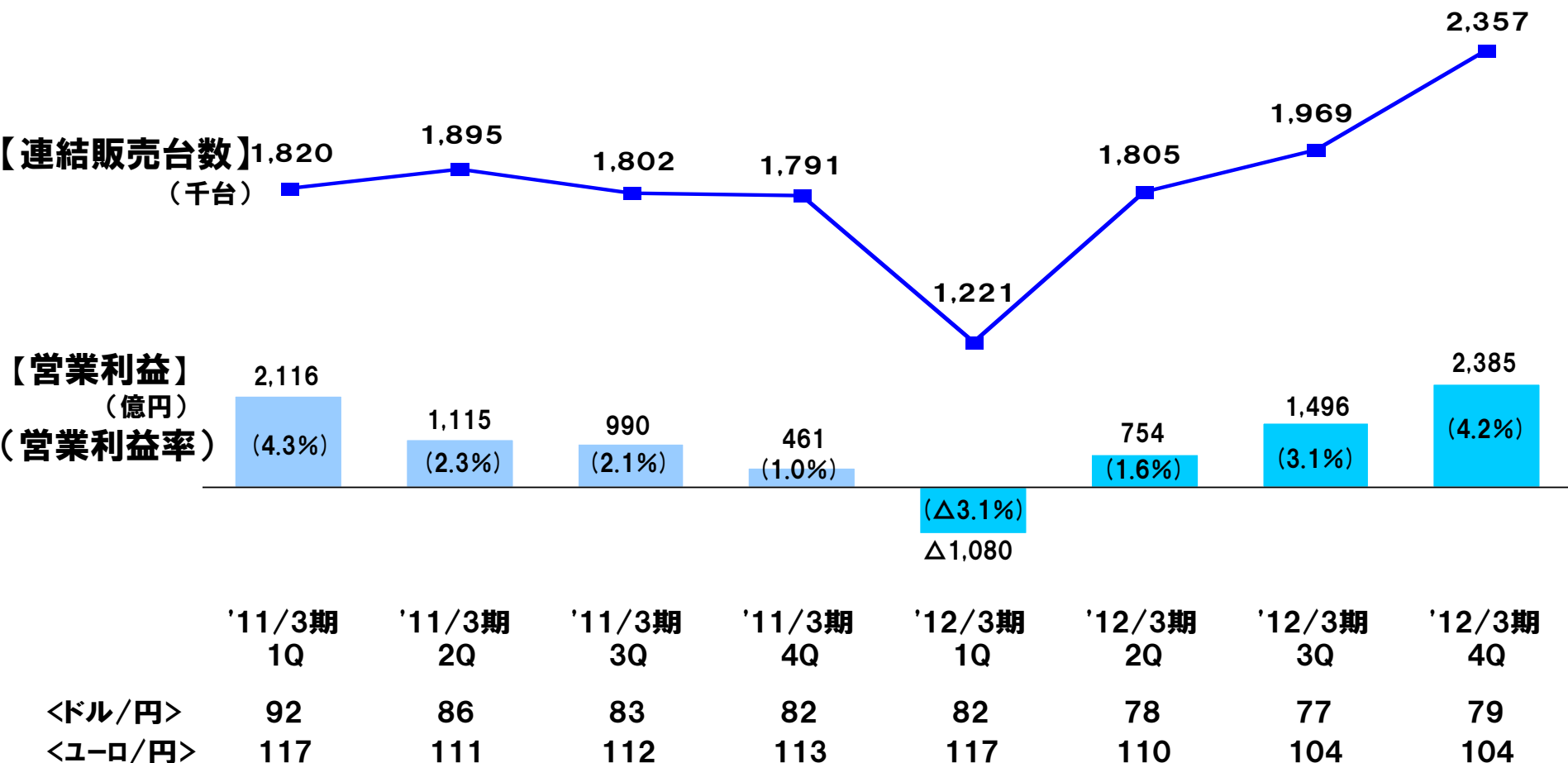
労務費の増加△1,000
研究開発費の増加△500

減価償却費および
設備関係費の減少+300
その他+200

<その他 内訳>

金利スワップ取引などの評価損益△208
海外子会社の営業利益換算差ほか△418

四半期別営業利益の推移

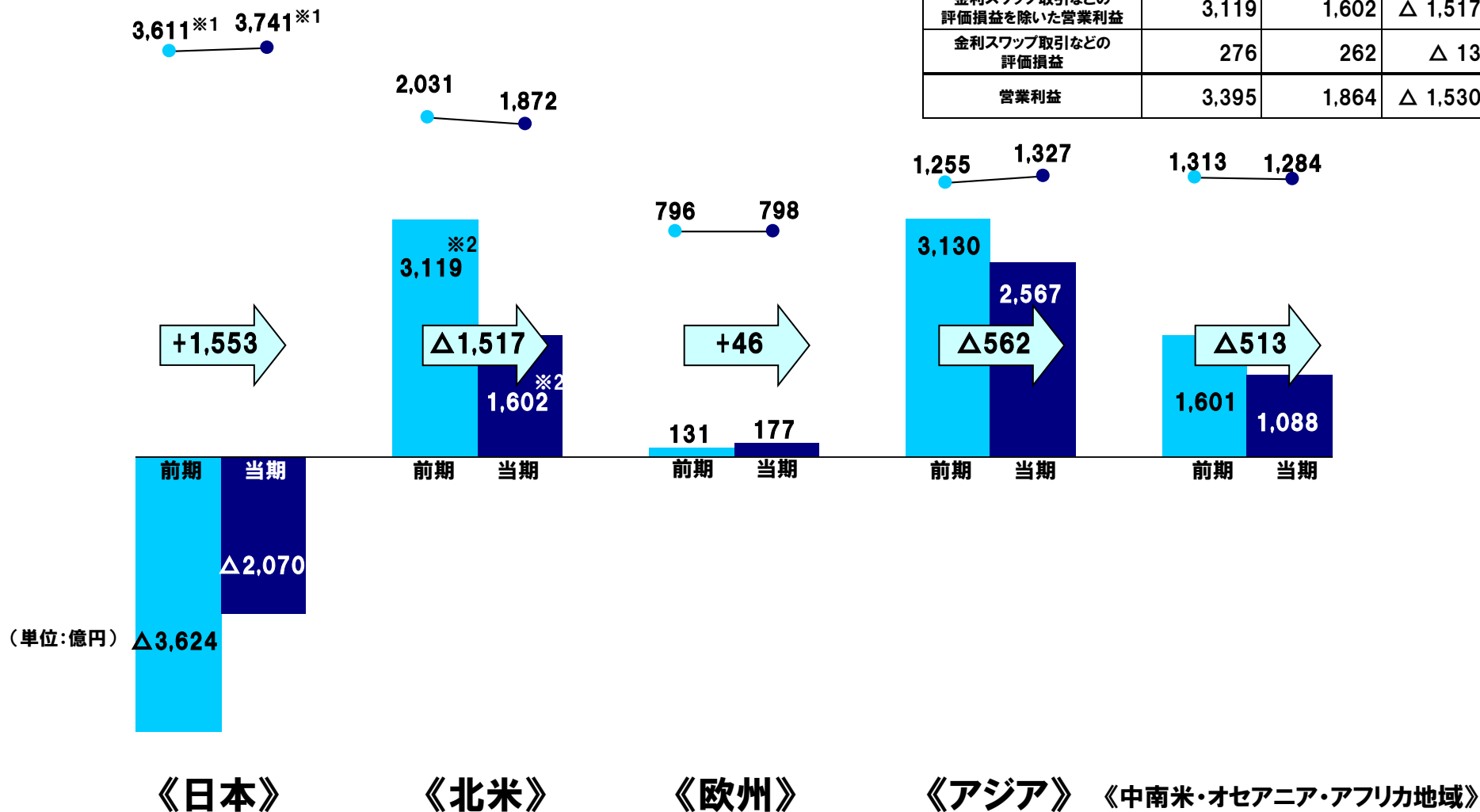


所在地別営業利益

【連結販売台数】(千台) (※1 日本は輸出台数を含む)
 (※2 北米のみ、金利スワップ取引などの評価損益の影響を除く)

(単位:億円)

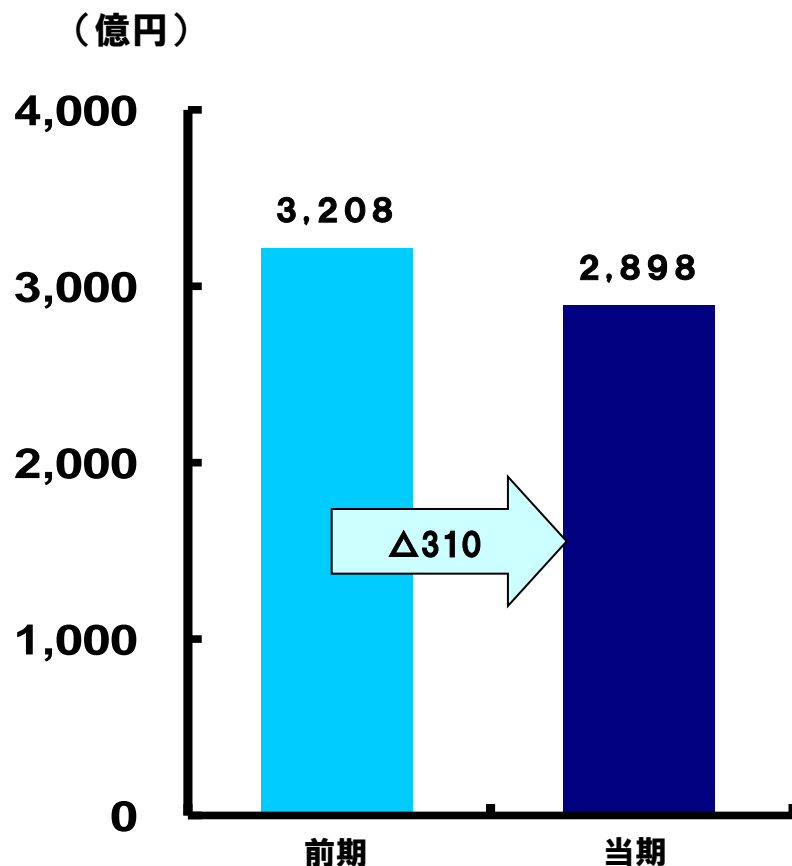
《北米》	前期	当期	増減
金利スワップ取引などの評価損益を除いた営業利益	3,119	1,602	△ 1,517
金利スワップ取引などの評価損益	276	262	△ 13
営業利益	3,395	1,864	△ 1,530



金融セグメント営業利益

金利スワップ取引などの
評価損益の影響を除く

11

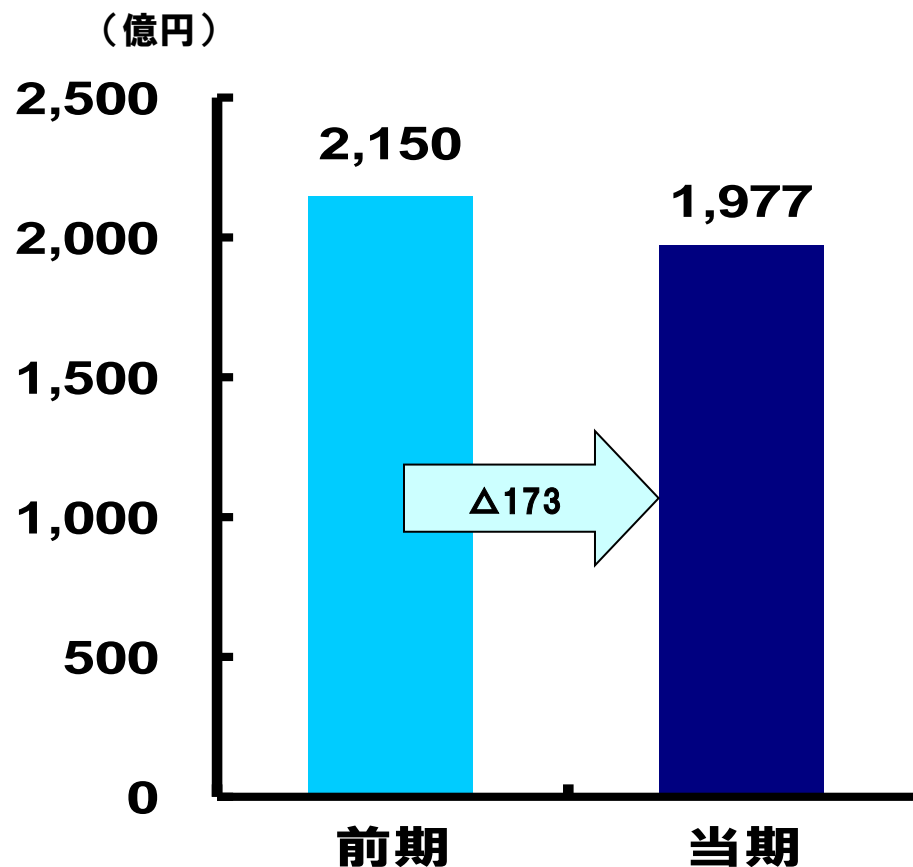


(単位:億円)

	前期	当期	増減
金利スワップ取引などの 評価損益を除いた営業利益	3,208	2,898	Δ 310
金利スワップ取引などの 評価損益	374	165	Δ 208
営業利益	3,582	3,064	Δ 518

融資利鞘の縮小等により、減益

持分法投資損益



国内および中国の持分法適用会社損益の減少により、減益

单独決算要約(日本基準)

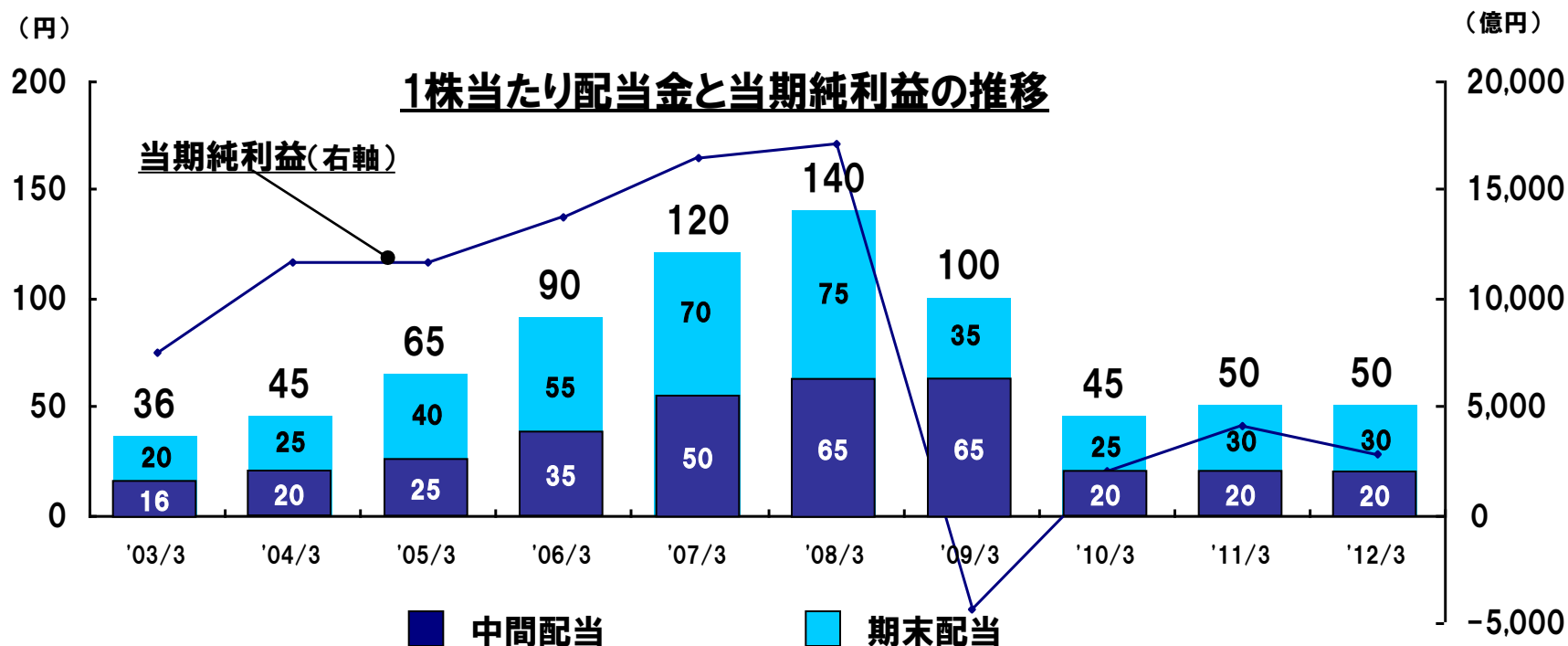
13

(単位:億円)

	当期 ('11/4-'12/3)	前期 ('10/4-'11/3)	増減	
				増減率
売上高	82,411	82,428	△ 17	△0.0%
営業利益	△ 4,398	△ 4,809	411	-
経常利益	230	△ 470	700	-
当期純利益	358	527	△ 169	△32.1%

株主還元

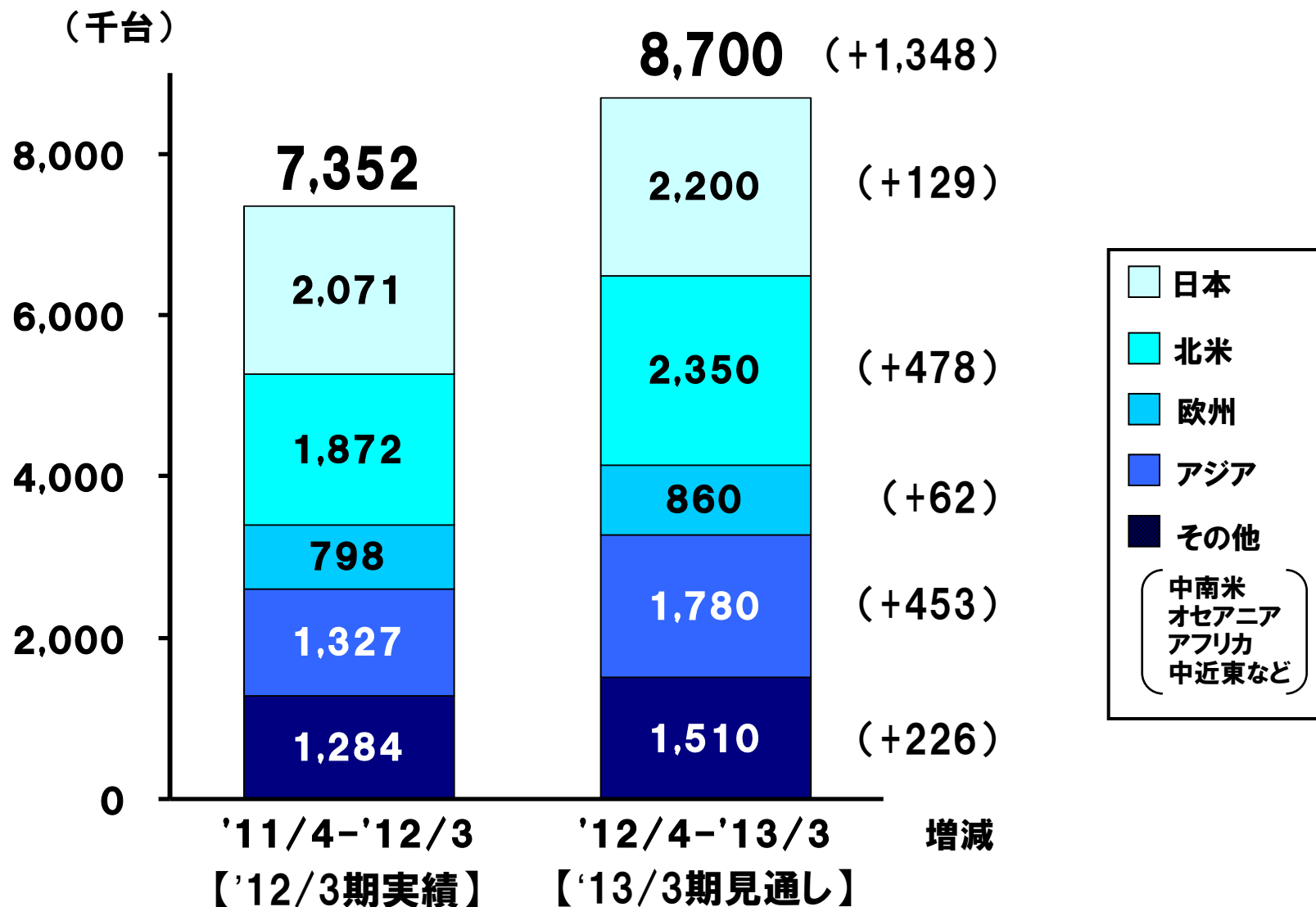
配当金(年間)：1株につき50円
(配当金総額：1,577億円)



2013年3月期

【見通し】

'13年3月期見通し: 連結販売台数



'13年3月期見通し: 連結決算

(単位: 億円)

		'13/3期見通し ('12/4-'13/3)	'12/3期実績 ('11/4-'12/3)	増 減
売上高		220,000	185,836	34,164
営業利益		10,000	3,556	6,444
税金等調整前 当期純利益		11,600	4,328	7,272
当期純利益*		7,600	2,835	4,765
為替レート	ドル	80円	79円	1円の円安
	ユーロ	105円	109円	4円の円高

*当社株主に帰属する当期純利益

'13年3月期見通し増減要因:連結決算 (vs'12/3期実績)

18

(単位:億円)

		営業利益
'12/3期実績('11/4-'12/3)		3,556
増 益 要 因	営業面の努力	+5,500
	うち 金融事業	△ 300
	原価改善の努力	+2,400
	小計	+7,900
減 益 要 因	諸経費の増加ほか	△ 1,456
	小計	△ 1,456
為替変動の影響		±0
合計		+6,444
'13/3期見通し('12/4-'13/3)		10,000

トヨタグローバルビジョンの目標※に向けて、収益構造改善は着実に進捗

※1ドル85円、販売台数750万台という経営環境で、連結営業利益率5%(1兆円程度)

'13年3月期見通し：設備投資、減価償却費、研究開発費

19

(単位：億円)

	'13/3期見通し ('12/4-'13/3)	'12/3期実績 ('11/4-'12/3)	増 減
設備投資	8,200	7,067	1,133
減価償却費	7,300	7,329	△ 29
研究開発費	8,100	7,798	302

【ご参考】

'13年3月期見通し: 単独決算

20

(単位: 億円)

	'13/3期見通し ('12/4-'13/3)	'12/3期実績 ('11/4-'12/3)	増 減
売上高	95,000	82,411	12,589
営業利益	△ 700	△ 4,398	3,698
経常利益	4,400	230	4,170
当期純利益	3,600	358	3,242

【ご参考】**'13年3月期見通し：台数(トヨタ・レクサス)**

21

		'13/3期見通し ('12/4-'13/3)	'12/3期実績 ('11/4-'12/3)
生産	国内	3,400 千台	3,119 千台
	海外	5,300	4,410
	合計	8,700	7,529
販売	国内(小売)	1,550	1,413
	海外	7,250	5,999
	合計	8,800	7,412
輸出		2,000	1,670

2012年3月期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社
2012年5月9日